



一橋大学



Global  
COE  
Hi-Stat

最低賃金と賃金格差

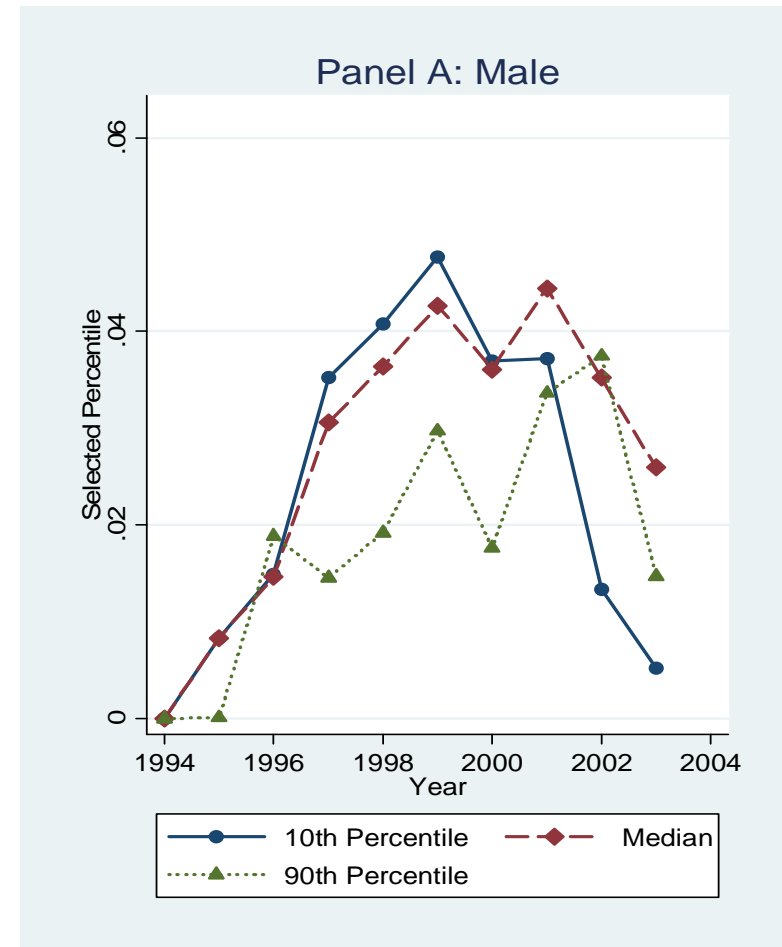
一橋大学経済研究所  
神林龍

公開討論会：兼松講堂  
2009年12月2日

# 1994～2003年の賃金格差の動向 ①

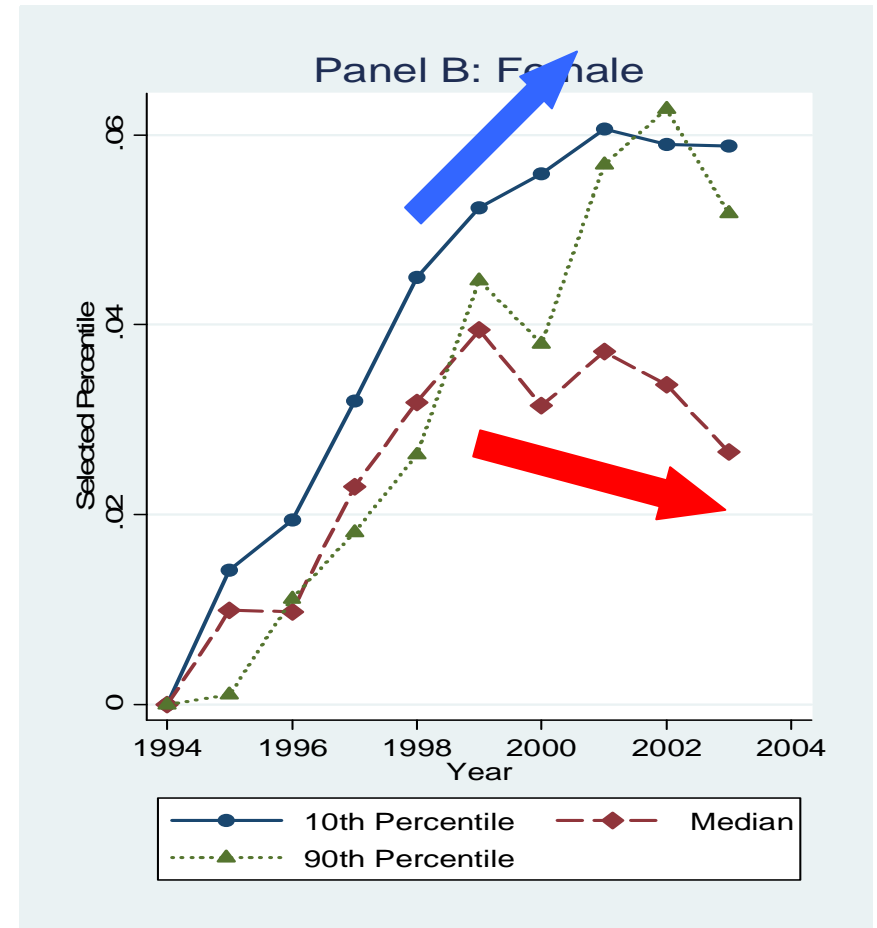
- 男性
  - 「10%点」と「中位点」が並行に移動
  - 賃金格差の安定的推移

「賃金」＝時間当たり賃金率。  
世帯所得ではない点に注意。



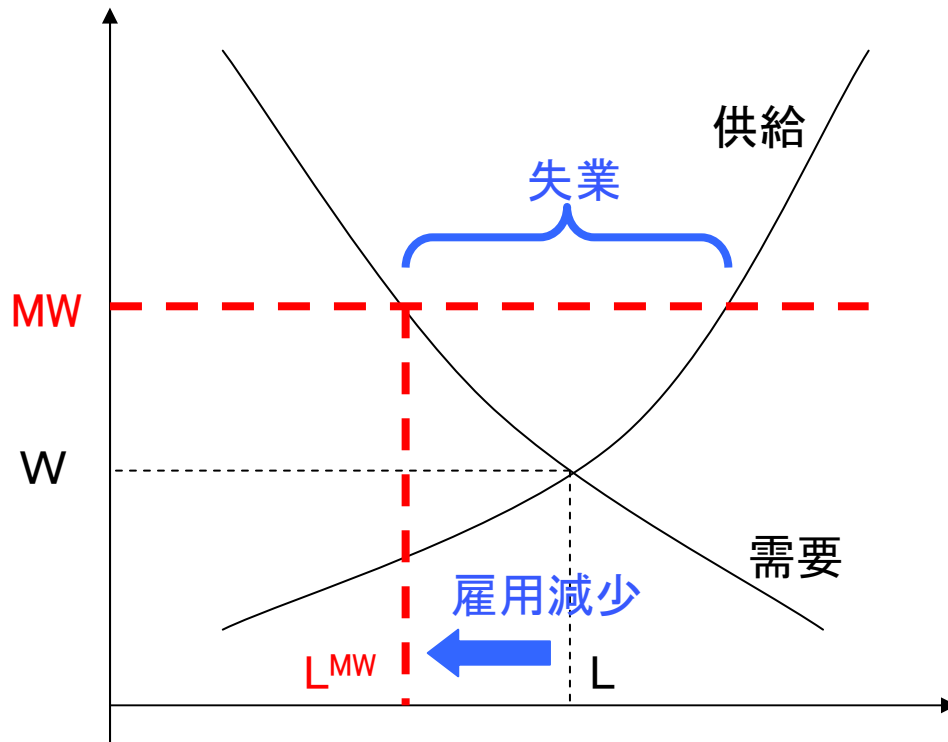
# 1993～2004年の賃金格差の動向 ②

- 女性
  - 「中位値の下降」と  
「10%点の上昇」
  - = (賃金分布の下の裾で  
の) 格差の縮小
- 最低賃金の影響？



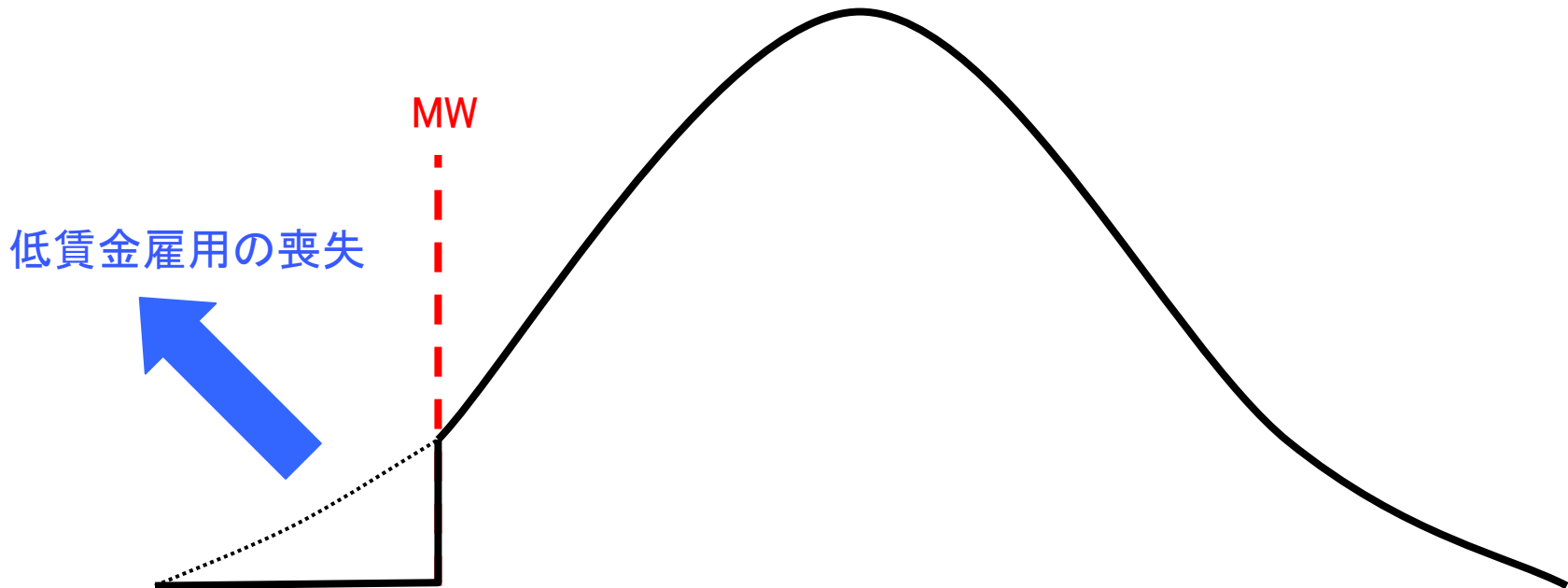
# 最低賃金と賃金分布 ①

- 最低賃金の効果を最も単純に理解すると...

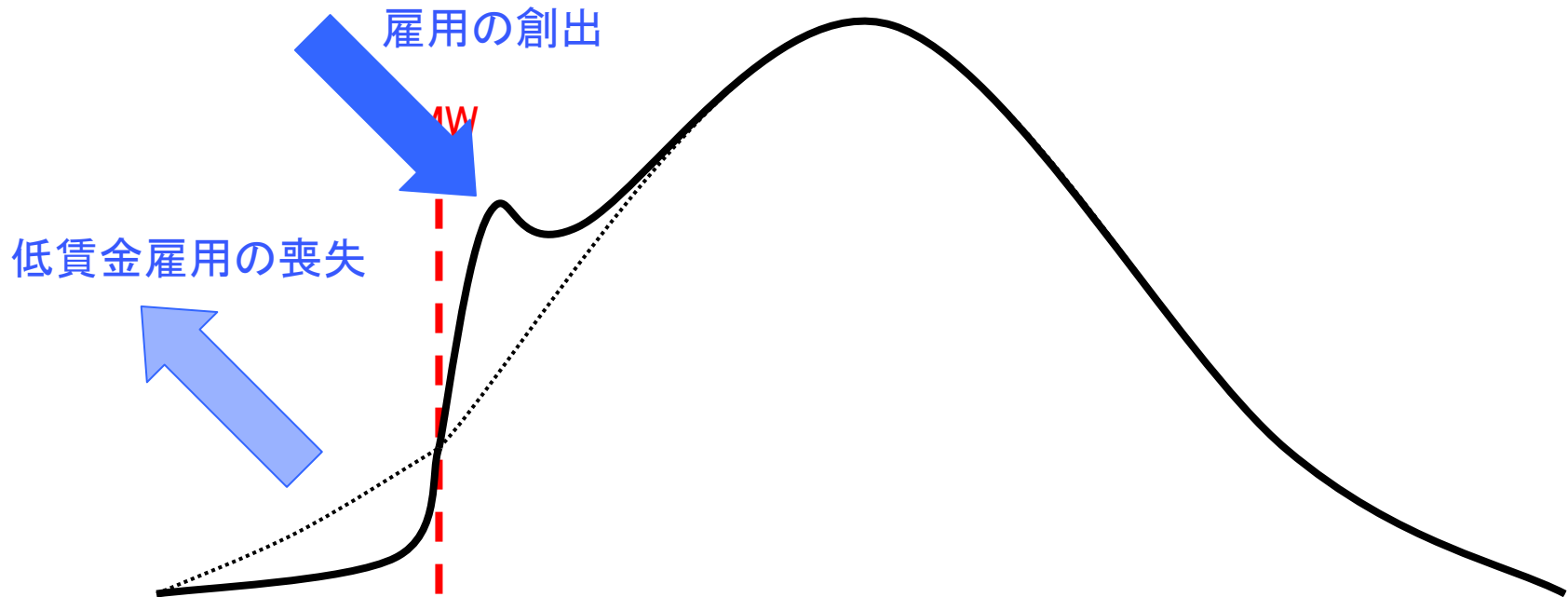


# 最低賃金と賃金分布 ②

- 賃金分布上では・・・



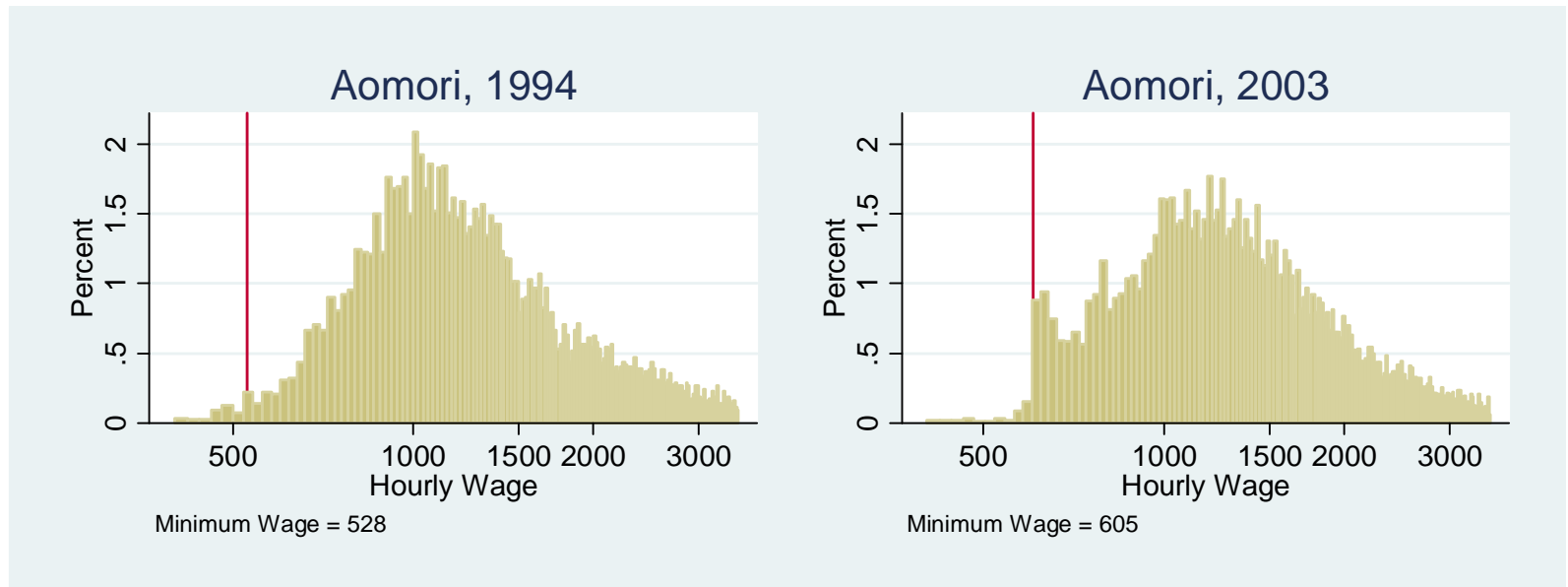
# 実際の賃金分布へ与える影響①



# 何故？

- スピルオーバー効果（積み上げ効果）
  - 最低賃金で雇われていた人がいなくなると、その人が担当していた**仕事**はどうなる？
    - （可能性1） なくなる
    - （可能性2） 他の人が（追加的に）担当する
  - 他のおのの仕事が増える。

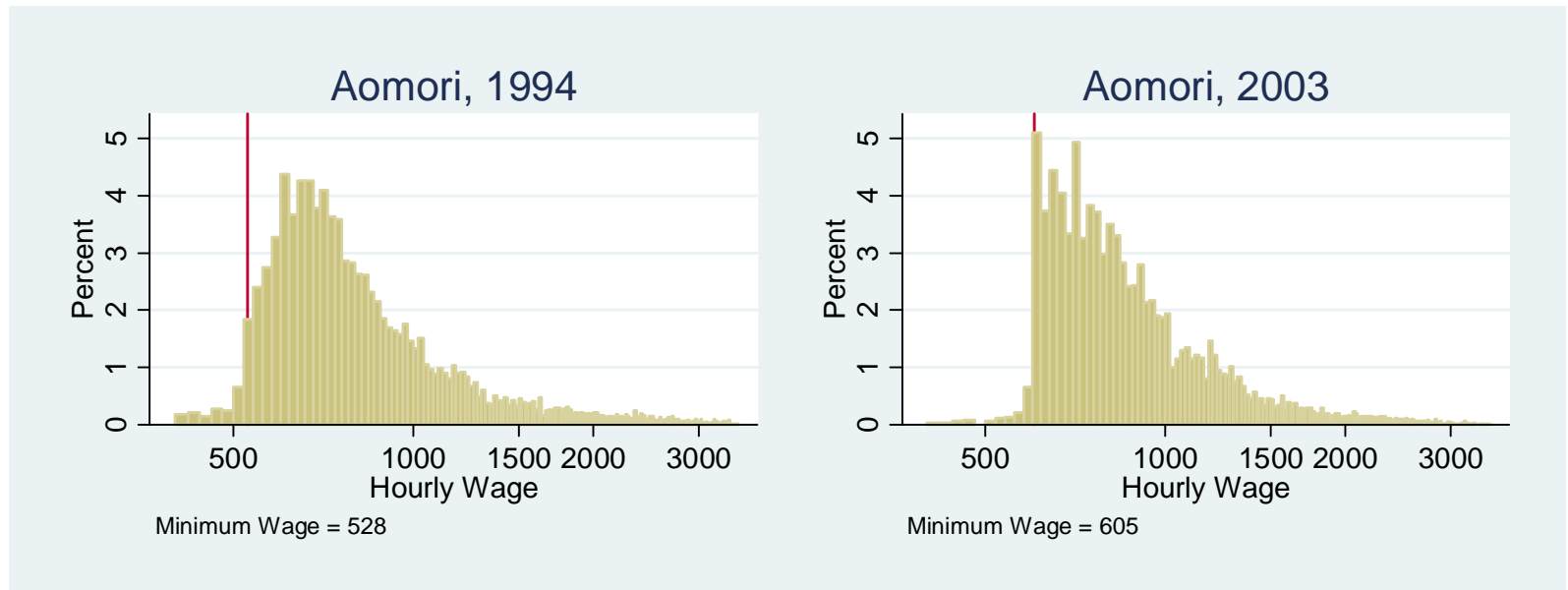
# 実際の賃金分布へ与える影響②



青森県の男性労働者の時給換算値の分布と最低賃金の変化



# 実際の賃金分布へ与える影響②



青森県の女性労働者の時給換算値の分布と最低賃金の変化

# 最低賃金が賃金格差に与える影響

## 結論①

- Kambayashi, Kawaguchi, and Yamada (2009)
  - スピルオーバー効果か、単純な積み上げ効果かははっきりしないものの、女性低賃金層の「底上げ」の効果はもっている。

# 最低賃金が賃金格差に与える影響

## 結論②

- したがって、賃金格差に関しては、最低賃金の上昇は格差を縮小させる方向に働いている。
  - たとえば、正社員・パートタイマーの賃金格差は、最低賃金が増えなかったとしたら、今以上に拡大していただろう。
  - ただし、賃金格差を考えるときには、「働いていない人の賃金」は考慮に入っていない点には注意。